

Q 山武市地球温暖化対策条例の制定について

A 啓発的な意味を含め条例は必要と思うが、市総合計画の中で基本的な考え方を示し、しっかりと取り組んでいく。

小野崎 正喜 議員

● **新市のまちづくりについて**

Q 山武市総合計画策定に当たり、どの段階で進捗度・達成度・効果等は図るのか。また、財政的な裏づけを図るのか。

A 市長 構想は実現性の高いものとし、計画は数値目標を掲げ、予算的な裏づけをもち、進捗状況をしっかりと把握した計画にしていきたい。

Q 山武市総合計画の原案策定で、市議会との意見交換はできないのか。

A 市長 議会に示す機会をたくさん設ける必要があると考えています。総務部長 各議会定例会時における全員協議会において説明を行っていききたい。

Q 山武市総合計画と都市計画の整合性を考えると、都市マスタープランを同時に策定した方がよいと思うがどうか。

A 都市建設部長 議員の指摘のとおり、都市マスタープランを総合計画と同時に進めるため、企画政策課と作業の協議を行っております。

● **高齢者福祉について**

Q 本年4月に創設された地域包括支援センターが期待される効果を果たし得るためにはネットワークの構築にかかっていると

思うが、関係団体との連携はどことどのようになっているのか。
地域包括支援センターの現在の利用状況はどうか。

私たち議員は、市民の付託を得て議会に参入させていただいております。山武市総合計画は、市議会の意見もぜひ取り入れてくださいます。また、包括支援センターですが、業務委託を視野に入れ、民間事業者の知識・

経験を最大に活用し、市民が安心して暮らせるための窓口になるように要望いたします。

A 保健福祉部長 在宅介護支援センター4か所に総合相談業務を一部委託しており、今後、このプランチを利用してネットワークの構築を図り、地域サービスの充実を図っていききたい。

在宅介護支援センター4か所4月実績で総合相談、権利擁護、虐待相談合計170件。地域包括支援センターでのケアプラン作成33件です。

能勢 秋吉 議員

● **商工・農業行政について**

Q 企業間の情報等について

工場誘致ならびに工業の振興は、地域活性化を図る上で重要な施策であると考えています。特に、雇用の面で欠かせないものです。

A 市長 商工会等と協議し、地域商工業の活性化について力を注いでいかねばならないと考えています。

● **野菜（ブランド）の育成について**

Q 少子高齢化時代が到来し、どの職業分野をとっても大変難しい社会情勢になっていく。山武市の基幹産業は農業ですが、たとえば最近の栽培技術の創意工夫により、ネギに海水を散布し育てることで、高い市場価格を維持できることを聞いて

いる。山武市地域の個性ある農産物のブランドを開拓し、推進していく考えについて

A 市長 時代の流れの中で、消費者の間では非常に農産物の産地に対する関心が高まっている。いかにして競争力をつけるかは、やはり品質・安全性にあると思います。

このブランドをどのようにしていくかという取り組みを、生産者団体・農協等と連携しながら取り組んでいく必要があると考えております。

● **医療行政について**

Q 国保成東病院には組合議会があり、議会には医療問題に関する特別委員会がありますが、地域医療における役割・診療科の状況・経営状況等について、医療関係の有識者により、国保成東病院のありかた検討委員会設置について

A 市長 地域医療をどのように構築していくか、この地域医療、特に病院と診療所の連携を含めて、安心して暮らせる地域づくりのためにどのような医療体制を整えていくかにつきましては、今の考えを十分参考にさせていただきます。専門的な知識を持っておられる方にしっかりと内部調査をしていただく手法で模索させていただきたいと思っております。

Q 肝臓がん等の治療に使うハイフ（高密度焦点式超音波治療法）という医療機器を厚生労働省から認可を得て使用しているようですが、保険の適用について

このブランドをどのようにしていくかという取り組みを、生産者団体・農協等と連携しながら取り組んでいく必要があると考えております。